

栃木トヨペットは、昨年度より新車購入のお客様に対する『ホイールロック』の提案販売強化に取り組んでいる。

お客様に真に満足いただける優れた商品と位置づけ、営業スタッフが携帯するタブレット端末におすすり用品として設定。そのうえで万が一タイヤ・ホイールの盗難に遭った際のクルマのダメージ、修復にかかる費用などを説明しながら、漏れなくおすすりすること、新車装着率は現在16・5%に達している（今年4～7月実績）。

これは、全国のトヨタ販売店の中でトップクラスの実績である。そのため同社では、全国ナンバーワンになることをモチベーションに、提案販売をさらに推進していく意向だ。

**お客様の安心・安全な
カーライフをサポート**

同社は1956年の創業以来、お客様から信頼され、社会からも必要とされる、「町いちばんの会社」となること目指している。そして、そのために「お客様第一主義」という信念に基づき、お客様の安心・

盗難防止を通じてお客様に安心・安全を提供!!

**大切なお客様を盗難被害から守るために
新車商談時のホイールロック提案を推進**

栃木トヨペット

安全なカーライフをサポートする商品やサービスの提供に努めている。

ホイールロックの提案販売強化もその一環である。なぜなら、栃木県はかねて都道府県別自動車盗難認知件数のワースト10に名を連ねているからだ。また、自動車本体の盗難認知件数は2003年の6万4223件をピークに減少傾向が続いている一方（昨年は7143件）、タイヤ・ホイールの盗難は増加に転じているというデータもある（図表①）。

タイヤ・ホイールの盗難の手法としては、ジャッキで持ち上げ、車体の下にコンクリートブロックなどを置いて取り外すのが一般的である。そのため、盗難に遭った場合はサイドシルや足まわりの部品が損傷していることが多く、被害者はタイヤ・ホイールの新調に加え、それらの修理のための費用負担も強いられることになる。タイヤ・ホイールの種類や損傷の程度にもよるが、最低でも30万～40万円にはなるだろう。

また、クルマは復元できたとしても、被害者の精神的なダメージは計り知れない。中には「また盗

図表① 車上ねらいの被害品

被害品	2016年11月調査			2017年11月調査			2018年11月調査			2020年2月調査		
	順位	件数	構成比	順位	件数	構成比	順位	件数	構成比	順位	件数	構成比
外装部品（バンパー・ドアミラー等）	2	83	16.2%	6	49	7.9%	1	57	13.7%	3	29	9.9%
スポーツ用品（ゴルフバッグ等）	6	21	4.1%	2	71	11.5%	2	54	13.0%	10	2	0.7%
バッグ類	1	86	16.8%	3	63	10.2%	3	51	12.3%	4	28	9.6%
金銭・カード（ETCカード除く）	4	42	8.2%	4	62	10.0%	4	43	10.4%	1	38	13.0%
カーナビ	5	40	7.8%	1	96	15.5%	5	18	4.3%	5	9	3.1%
タイヤ・ホイール	3	61	11.9%	5	62	10.0%	6	15	3.6%	2	33	11.3%
運転免許証	9	6	1.2%	8	10	1.6%	7	9	2.2%	6	8	2.7%
その他	—	165	33.7%	—	207	33.4%	—	168	40.5%	—	145	49.7%
上記合計	—	511	100.0%	—	620	100.0%	—	415	100.0%	—	292	100.0%

出典：日本損害保険協会 第21回自動車盗難事故実態調査結果